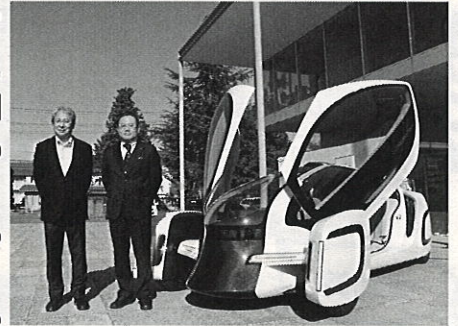


# 新素材「しなやかタフポリマー」を活用した電気自動車

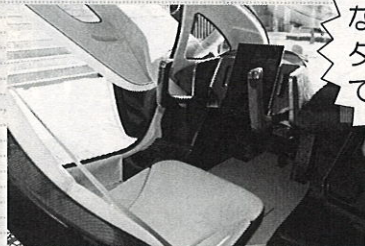
## I to P アイトップ

10月25日(木)、26日(金)の2日間、新素材「しなやかタフポリマー」を活用したコンセプトカー「I to P」(アイトップ)の見学会が工学部百周年記念会館で開催されました。9月28日に公開されたばかりの本コンセプトカー、大学での公開は山形大学が初めてという事もあり、当日は多くの人で賑わいました。

“I to P”は、“Iron to Polymer”の略称で、車の主原料である金属をポリマーに置き換えた電気自動車です。従来の車に比べて、ポリマーの使用率はなんと約4倍！この素材として用いられているのが、山形大学が研究開発に関わった新素材「しなやかタフポリマー」です。その名の通り、軽くて丈夫な特徴を持つこのポリマーを使用することで、従来の車に比べて約40%の軽量化に成功しました。これによって、製造および10万km走行後の温室効果ガスの排出量は従来のエンジン車と比べて13.7%減少する可能性が見込まれています。よりいっそう環境にやさしくなった電気自動車、今後の活躍が楽しみです！

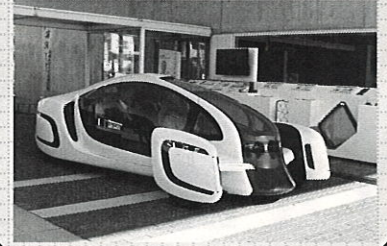


運転席



なんと  
タッチパネル  
で操作!!!

走行時

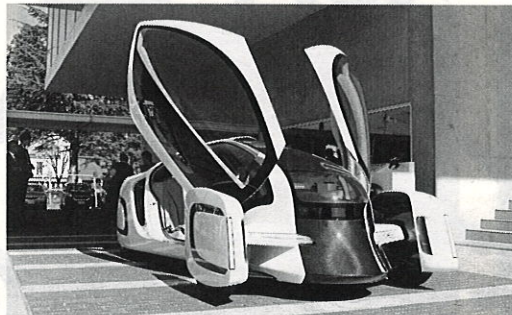
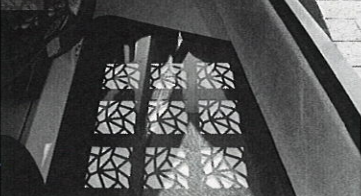


内装には有機ELを使用

天井



床

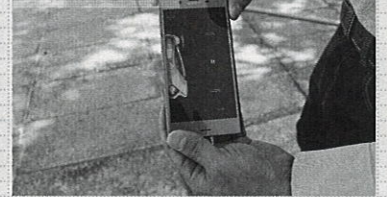


フロント部分



スマホで簡単操作

ドアの開閉



リクライニングの調節

